

bpost bank trofee GP Mario De Clercq Ronse CL1 レースレポート

パナソニックレディース 豊岡英子

日時 2013年10月13日
場所 ベルギー、ロンセ
天候 大雨
気温 8度
結果 15位



ベルギーに渡り、10日程が経ち、時差や生活にも慣れてきた。

本場ヨーロッパでは、2大シクロクロスのシリーズ戦とも言える1つ bpost bank trofee の第1戦が始まった。私のヨーロッパでの初戦であるが、この地方特有とも言える冷たい雨が毎日降り続く。その為、ものすごい泥レースを余儀なくされた。

このコースは、自身も初めて走るコースで噂には聞いていたが凄まじいコースレイアウトであった。スタートはオンロードの登り。そして、オフロードに入っていくが、すぐに下り、そして長い芝の登りから下りのスラローム状の滑る芝泥区間。そして、また芝登り下り登り下りの連続で、激坂担ぎ区間が2ヶ所あるが、またすぐにひどい泥下りという、なんともタフなコースレイアウトだ。

さらに、追い打ちをかける様に、とても強い風がこれでもかというように吹いている。スタート前には、スタートゲートが無残にも、強風によりグチャグチャに潰れているのではない。スタートゲート以外の物も吹っ飛んでいた。

私のレースは13：45スタート。タイヤは迷うことなく LIMUS33 を選択。寒いのでウォーミングアップを入念に行いスタート地点に立つ。スタート地点では皆真剣だけど、挨拶をしっかりする。もう、ヨーロッパで走って6年目になるので大体の選手は友達である。

スタート5分前に、先日バイクペーサー中に事故で亡くなった Amy 選手に全員で黙祷を捧げる。

ものすごい向かい風の中スタート。スタートは上手くいき、オフロードへは8番手位で突入。上手くいったと思った矢先、ピット前の芝の登りで失速、ごぼう抜きされる。芝の登りは本当に課題である。2周目に入り、自分は13番手位の所にいると確認し、3人パックで走る。10番以降の選手は私が言うのもなんだが、あまりスキルが無いので下りやテクニカルセクションで離れるが、脚力があるのでオンロードや芝区間で追いついてくる。

3周目、一緒に走っていた選手が1人遅れていき2人で走る。段々登れていたセクションが泥々で登れなくなってきた。私は、毎周回バイク交換を行いトラブルを避けた。向かい風の登りは本当に進まなく、ものすごくきつかった。4周目、一緒に走っていた選手と少し差がついてしまった。追いつきたいが、追いつけない。

コースの4分の1位でトップの選手がゴールしているとアナウンスがあった。体力の消耗も激しく激坂の担ぎでは、足がもつれまくりで転ぶかと思った。どうにか、ゴールまでのオンロードに入る。ぱっと前を見たら、すぐ前に4人は確認できたが追いつく事はできなかった。

ゴールラインを越えた時は、話す体力も無く自転車に寄り掛り上着を着せて貰った。自身としては、ヨーロッパでの過酷な天候とコースに洗礼は受けたが、とても良く走れたと思う。

しかしながら、こちらでサポートしてくれている方々は、もっと上を目指しているし、自分自身も、もっと上を狙っているので焦らず着実にレースをこなしていきたい。

使用機材

自転車	パナソニック
ヘルメット	OGK KABUTO
ステム	dixna
ハンドル	onebyesu
フォーク	onebyesu
バーテープ	dixna

サングラス	adidas eye wear
ウェア	パールイズミ
タイヤ	challenge
サドル	fi'zi:k
シューズ	fi'zi:k
遠征バック	deuter
チェーンオイル	Holmenkol